

文芸コーナー

三十三年に一度のお披露目  
松虫寺の御開帳と稚児行列



広報レポーター：中谷 久美好(内野)

松虫寺(松虫7)は『奈良時代、聖武天皇の第三皇女・松虫姫は重い病に苦しんでいたが、夢に現れた薬師如来のお告げに従い、下総国(現千葉県)の萩原郷(旧印旛村)に下り、薬師仏に祈り続けるうちに病が完治した。喜んだ聖武天皇は、僧・行基に七仏薬師を造らせ、寺を建立し松虫寺と名付けた』という言い伝えが残る古刹です。本尊の七仏薬師像はカヤ材の一木造で、木造薬師如来立像(54.3cm)が1体、木造薬師如来坐像(38cm)が6体という組み合わせです。それぞれが分

離した七形体は国内でも非常に稀で、国の重要文化財にも指定されています。そんな貴重な七仏薬師像を拜見できるのは、なんと33年に一度だけ!そして、幸運なことに、平成24年11月18日に御開帳されると伺い「ぜひとも拝見したい!」と思ひ参りました。当日は、早朝から多くの参拝者が来訪。境内中央には、長野の善光寺の御開帳で立てられる回向柱のような御柱が立てられ、御柱からは御手綱が薬師堂内に安置された薬師如来坐像の御手に結ばれていました。何でも、この綱を握ると如来さまと握手したことになるのか。わたしもしっかりと握らせていただきました。法要に先立ち、稚児行列が行われました。約50人の子



▲本尊の七仏薬師像。その右手の御手綱が伸びて...



▲このように本堂前の御柱につながっていました



▲稚児行列に参加する親子  
▲本堂で行われた法要の様子

した。法要後、市外から稚児行列に参加していた菅澤さん夫妻と二人のお子さんたちにインタビューすると「記念になった!楽しかった」と答えてくれました。檀家総代で、御開帳の実行委員長も兼ねる大須賀光淑さんによると「この御開帳に合わせ3年前より地元の檀家のみなさんから寄付を集め、痛んだ本殿の回廊の修復計画を進めてきました」とのこと。午後には催された奉納演芸会も地元のみなさんの企画だそうです。稚児行列の先導や駐車場の警備などに当たっていたのも地元消防団の方々でした。御開帳が、地元根付いた大切な行事であることが伺われ、この先もずっと守られていくことを願いました。

リサイクル情報広場

掲載情報は12月26日現在  
☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383)

- ◆ゆずりませ情報 (有料の物は希望価格)  
①電子ピアノ(無料)②ハイローベット&チェア(4千円)③バストロンボーン(6万円程度)④ノートパソコン(1万円)⑤電子レンジ(4千円)⑥プリンター用のインク(2個で1千円)⑦セラミックヒーター⑧和風家具調こたつ⑨。
- ◆さがしています情報  
①大森小学校男子体操服②ピアノ(アップライト)③印西中学校の女子用制服と運動着④しおん幼稚園男児、女児用ジャージ、男児、女児用体操服(大きめサイズ希望)⑤天神幼稚園男児、女児制服、ブラウスなど⑥犬用乳母車⑦ベビーカー⑧補聴器。  
※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



短歌

加藤恵美子選

晩秋のすがしき部屋に写経せんと墨をすりをり只無心にて  
入海と紛ふがごとく広される溜沼にひと日寒き雨降る  
大森 安孫子正子  
空と海けじめのなきまで雨の降る大洗港潮の香のする  
木刈 山本 清子  
雨の降る小暗き道に色冴ゆる石路の花あたたかに見ゆ  
小林 小田川芳子  
冬枯れし野に雨後の陽はかがやきて福良雀に温もり与ふ  
大森 三ツ木絹江  
原 野村 とく

俳句

田口 三石選

選挙戦事多き年暮れてゆく  
大森 石井 章夫  
原発や人なき村の年暮るる  
小倉台 田中孝二郎  
裸灯の手締め揺るる羽子板市  
木刈 宮下 諄子  
さて何処へ行こうか赤いマフラーして  
小林 池田 恭子  
電線に佛顔して寒雀  
原 今野 肇

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

施設がいと

東京基督教大学



広報レポーター：佐々木 護(木刈)

北総線の丘公園の南側の長い緑地を歩いて行くと、東側にチャペルが見えてきます。そこがプロテスタント系神学部がある東京基督教大学(内野3-301-5)です。同



▲高い鐘楼が特徴のチャペル(上)と校舎の外観

大学は、前身の短大が1989年に東京都から現在の場所に移転。翌年に大学として創立されました。緑溢れるキャンパスには校舎以外にチャペル、国際宣教センター、キリスト教関係の資料が非常に充実した図書館などがあります。特にチャペルは宗教画が描かれたステンドグラスが印象的で、パイプオルガンと

高い天井が生み出す響きにより、ふくよかな音が奏でられる優れた音楽ホールでもあります。また、敷地内には見事な桜並木もあり、春には「大学の事務局に気軽に一声かけて頂ければ訪れることもかまわない」ということでした。同大学は全寮制で、生活・信仰・学問が統合されたクリスチャンの育成を目指しています。1学年40人、専任教員1人あたりの学生数は7人という少人数教育で、4人に1人が海外からの留学生です。彼らと共に寮で生活し、学ぶことで文化や言語を超えた交流を経験できるのも特徴です。わたしたちの多くは、キリスト教徒でなくても12月になるとなんとなくクリス



▲コンサートは楽しくも荘厳な雰囲気

時間半にわたり演奏されました。出演は大学関係者の合唱団30人ほどで、アットホームな雰囲気でしたが、司会進行の稲垣俊也さんはご自身も美しいバリトンの声を響かせながら指揮をされていました。圧巻だったのは、最後に40人近くいた聴衆が「ハレルヤコーラス」を全員で歌った時でした。まるで申し合わせたように美しいハーモニーが会場に響き渡ったのです。ミサのような荘厳な雰囲気の中、わたし自身も神聖な空気に触れた夜となりました。ほかにも公開講座やコンサートが開催されており、一般の人でも参加が可能です。こうした機会にも学園を訪れてみてはいかがでしょうか。東京基督教大学(☎461131)。